

## 人間科学専攻（修士課程）

### 【教育研究上の特徴・目的】

本専攻には、哲学、芸術学、心理学の三つの研究領域がある。それぞれの研究領域に関する研究力および実践力を鍛え、現代社会や人間のこころの諸問題に対して、その解明や改善に資する研究者を養成する。

### 教育基本方針

甲南大学大学院人文科学研究科人間科学専攻は、哲学、芸術学、心理学の各研究領域に関し、それぞれの領域の研究に必要な、先行研究の検討、目的に応じた研究計画立案、研究成果の伝達等についての基礎的な能力を修得するとともに、幅広い専門知識、高い倫理性、積極的な社会貢献への意志を有する人材の育成をめざします。【修士課程】では、教員、博物館学芸員をはじめとして、現代社会の複雑な問題に柔軟に対応できる幅広い専門知識を備えた専門職業人・研究者の育成をめざし、【博士後期課程】では、現代社会の複雑な問題に広く、かつ、深く対応できる幅広い専門知識を備えた高度専門職業人、創造性豊かな自立した専門研究者の育成をめざします。

### 修了認定・学位授与の方針

甲南大学大学院は、大学院学則第1条に定める、甲南大学の教育精神に基づいて育成された一般的及び専門的教養を基盤として、学術の理論と応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献することを目的としています。

人文科学研究科人間科学専攻においては、本研究科及び本専攻の教育基本方針のもと、下記の能力・資質を身につけ、社会及び学術の発展・向上に寄与できる人材の育成を教育目標とします。課程の修了にあたっては、本研究科の定める期間在学し、本専攻が定める課程修了に必要な単位を修得のうえ、論文等の審査及び最終試験に合格した者に修士（文学）の学位を授与します。

#### 【修士課程】

- (1) 哲学、芸術学、心理学のいずれかに重点を置きつつ、一部、他の分野も学び、幅広い専門知識を備えた専門職業人としての実践能力、並びに、創造性豊かな研究能力を有しています。
- (2) 理論的な専門的知識と併せて、実践的な専門的能力をも身につけ、高い倫理観と積極的な社会貢献への意志を備えています。

### 教育課程編成・実施の方針

人文科学研究科人間科学専攻では、学位授与の方針に掲げる能力・資質等を修得させるために、必要とする科目を体系的に編成し、演習、講義、実習のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。また、学位論文等の作成等に対する指導を行います。加えて、修了認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

カリキュラムは、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を検証することにより、組織的かつ定期的に見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、評価については以下のように定めます。

#### 【修士課程】

##### 1) 教育内容

人間科学専攻には、哲学、芸術学、心理学の各研究領域に関し、高度専門職業人又は自立した研究者及び創造性豊かな人材として必要な能力を習得するため、それぞれの専門分野における知識、技能を身につけるための教育課程を編成し、実施します。一部、幅広い知識と視野の習得を促すため、他の分野の科目を配置します。

##### 2) 教育方法

- (1) 研究技量を身につけるための演習、専門知識を習得するための講義、専門技量を習得するための実習、又はこれらを組み合わせた授業を開講します。
- (2) 理論的な修練と併せて、実践的な専門的能力と高い倫理性をも身につけるよう研究指導します。
- (3) 研究指導は、演習や個別指導により実施します。

##### 3) 評価

- (1) 単位の認定については、大学院学則第9条に基づき、筆記試験、口述試験、報告等及び各科目のシラバスに定める方法によって学期末又は学年末に評価します。
- (2) 修士論文、修士論文に代わる研究成果物及び修士論文に代わる研究報告の審査並びに最終試験は、専攻で定める審査基準に基づいて行い、その結果に基づき可否を判定します。

カリキュラムマップ									
修了認定・学位授与の方針（DP）									
(1)	哲学、芸術学、心理学のいずれかに重点を置きつつ、一部、他の分野も学び、幅広い専門知識を備えた専門職業人としての実践能力、並びに、創造性豊かな研究能力を有しています。								
(2)	理論的な専門知識と併せて、実践的な専門的能力をも身につけ、高い倫理観と積極的な社会貢献への意志を備えています。								
到達目標							対応する修了認定・学位授与の方針(DP)の番号		
A	心理学の多様な領域における専門知識と、高度な研究遂行能力を有している。						(1)(2)		
B	哲学の多様な領域における専門知識と、高度な研究遂行能力を有している。						(1)(2)		
C	芸術学の多様な領域における専門知識と、高度な研究遂行能力を有している。						(1)(2)		
D	方法論が異なる複数の領域や分野の知識を深め、統合的・学際的に人間について考究することができる。						(1)(2)		
E	専門分野における研究法や倫理を高水準で修得し、創造性豊かな研究を実践することができる。						(1)(2)		
F	専攻・領域を超えて、多様化する社会に対応した幅広い専門的知見を身につけ、柔軟な思考力を有している。						(1)(2)		
授業科目表（人文科学研究科 人間科学専攻（修士課程））									
[2026年度(令和8年度)の入学生に適用]									
授業科目名			単位数	到達目標					
				A	B	C	D	E	F
専門科目	必修	人間科学総論	2				○		
		人間科学演習Ⅰ	2					○	
		人間科学演習Ⅱ	2					○	
		人間科学演習Ⅲ	2					○	
		人間科学演習Ⅳ	2					○	
	選択	人間科学思想研究	2		○				
		言語思想研究	2		○				
		現代芸術思想研究	2		○	○	○		
		芸術思想研究	2		○	○	○		
		人間・環境学研究	2		○				
		環境倫理研究	2		○				
		生命倫理研究	2		○				
		現代思想特論	2		○				
		言語イメージ特論	2		○				
		現代社会と表現	2				○		
		芸術と福祉	2				○		
		美学思想特論	2				○		
		環境教育学特論	2			○			
		心理学特別研究Ⅰ	2	○					
		心理学特別研究Ⅱ	2	○					
		心理学特別研究Ⅲ	2	○					
		心理学特別研究Ⅳ	2	○					
		心理学特別研究Ⅴ	2	○					
		心理学特別研究Ⅵ	2	○					
		発達心理学特論	2	○					
		社会心理学特論	2	○					
		人格心理学特論	2	○					
臨床心理学特論	2	○							
生態心理学特論	2	○							
心理学統計法特論	2	○							
心理学研究法特論	2	○							

授業科目名	単位数	到達目標					
		A	B	C	D	E	F
専攻横断科目	日本文学の主要問題 a	2					○
	日本文学の主要問題 b	2					○
	日本語学の主要問題 a	2					○
	日本語学の主要問題 b	2					○
	英語学の主要問題 a	2					○
	英語学の主要問題 b	2					○
	英米文学の主要問題 a	2					○
	英米文学の主要問題 b	2					○
	英米文化の主要問題 a	2					○
	英米文化の主要問題 b	2					○
	応用社会学の主要問題 I	2					○
	応用社会学の主要問題 II	2					○
	歴史学と地理学の主要問題 I	2					○
	歴史学と地理学の主要問題 II	2					○
	人間科学の主要問題 I	2					○
	人間科学の主要問題 II	2					○
	人間科学の主要問題 III	2					○
	人間科学の主要問題 IV	2					○
	人間科学の主要問題 V	2					○
	人間科学の主要問題 VI	2					○
人間科学の主要問題 VII	2					○	
関連基礎科目	哲学基礎研究 I	2		○			○
	哲学基礎研究 II	2		○			○
	哲学基礎研究 III	2		○			○
	哲学基礎研究 IV	2		○			○
	哲学基礎研究 V	2		○			○
	芸術学基礎研究 I	2			○		○
	芸術学基礎研究 II	2			○		○
	芸術学基礎研究 III	2			○		○
	芸術学基礎研究 IV	2			○		○
	芸術学基礎研究 V	2			○		○
	心理学基礎研究 I	2	○				○
	心理学基礎研究 II	2	○				○
	心理学基礎研究 III	2	○				○
	心理学基礎研究 IV	2	○				○
	心理学基礎研究 V	2	○				○

[所定の単位]

専門探究コース

1. 必修科目10単位、選択科目20単位以上、併せて30単位以上修得すること。
2. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることができる。
3. 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4単位を上限として選択科目に充てることができる。

多元教養コース

1. 必修科目10単位、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて30単位以上修得すること。
2. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
3. 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4単位を上限として選択科目に充てることができる。

リカレントコース

1. 必修科目10単位、選択科目、専攻横断科目を併せて40単位以上修得すること。
2. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
3. 関連基礎科目については、12単位を上限として選択科目に充てることができる。